

流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、みなさまからいただいた調査票をもとに、令和7年2月の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

次回調査は、令和7年5月となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<調査概要>

○調査対象月

令和7年2月

○調査期間

令和7年2月28日から3月13日

○調査対象

流山商工会議所会員事業所

○回答数

建設8、製造5、卸・小売9、サービス12

合計34事業所

○調査項目

全国 LOBO に準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し

(DI 値を集計)

○付帯調査

「年収の壁」について

❖流山の景気動向【概要】

全産業合計の業況DIは、▲20.6（前回比▲11.5ポイント）。全国DIと比較すると▲0.1ポイント。前回調査より全業種ともに苦境がうかがえる。先行きについても長引く物価高に伴う消費マインドの低迷に加え、資源価格等の上昇に伴うコスト負担増、人件費の増加など依然厳しい状況が予想される。附帯調査のいわゆる「年収の壁」を要因とした「就業調整」において、人手不足に陥っている割合は30.8%、人手不足の問題がない割合は57.7%で、パート等従業員の追加雇用で不足分を補えているという回答が多かった。

<流山おおたかの森SCの概況>

2月度は昨年が閏年のため、営業日数が1日減、また複数区画が改装中によるマイナス影響があったが、飲食店中心に売上伸長し、SC全体で昨対101.3%と前年クリアした。

<流山工業団地の概況>

12月に年収の調整で休みが重なり、人が不足しないよう、早めに調整をするように従業員にお願いをしているようである。有休休暇もあるので、調整が難しいところも出ているようである。最低賃金があり、年収の壁が上がらないと、人が足りなくなってしまう。

❖流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流山												
		▲ 20.6	▲ 20.6	▲ 26.5	▲ 11.8	▲ 26.5	▲ 23.5	▲ 61.8	▲ 61.8	29.4	29.4	▲ 8.8	▲ 8.8
	全												
	国	▲ 20.5	▲ 15.6	▲ 6.4	▲ 3.2	▲ 20.7	▲ 14.5	▲ 66.6	▲ 55.2	22.0	22.7	▲ 13.7	▲ 12.1

凡例



特に好調
(DI ≥ 30)



好調
(30 > DI ≥ 15)



まあまあ
(15 > DI ≥ 0)



やや低調
(0 > DI ≥ ▲15)



低調
(▲15 > DI ≥ ▲30)



極めて低調
(DI < ▲30)

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

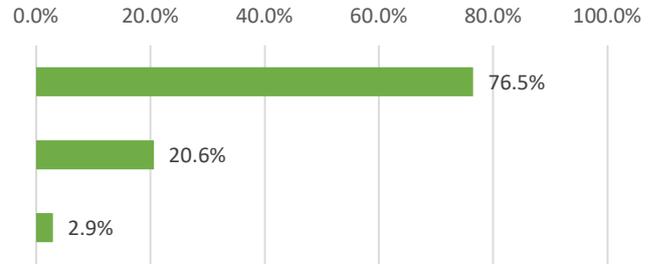
$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

❖付帯調査

1. 年収の壁

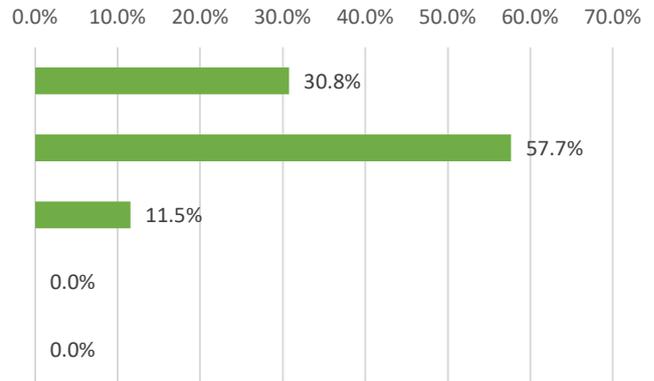
1-1. 雇用状況について

- 1 : パート・アルバイト従業員を雇用している
- 2 : パート・アルバイト従業員は雇用していない
- 3 : 回答不能



1-2. 年収の壁を要因とする就業調整について

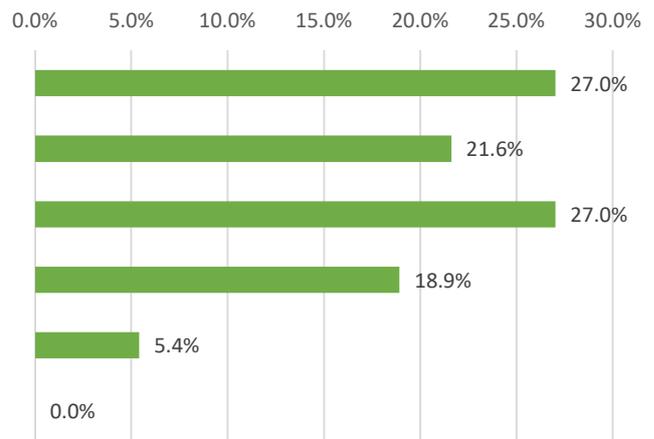
- 1 : 「就業調整」しているパート・アルバイト従業員がおり、人手不足の問題に直面している
- 2 : 「就業調整」しているパート・アルバイト従業員はいるが、特に人手不足の問題は生じていない
- 3 : 「就業調整」しているパート・アルバイト従業員はいない
- 4 : 分からない
- 5 : 回答不能



※質問 1-2 で選択肢 1~2 と回答した方

1-3. 就業調整している理由

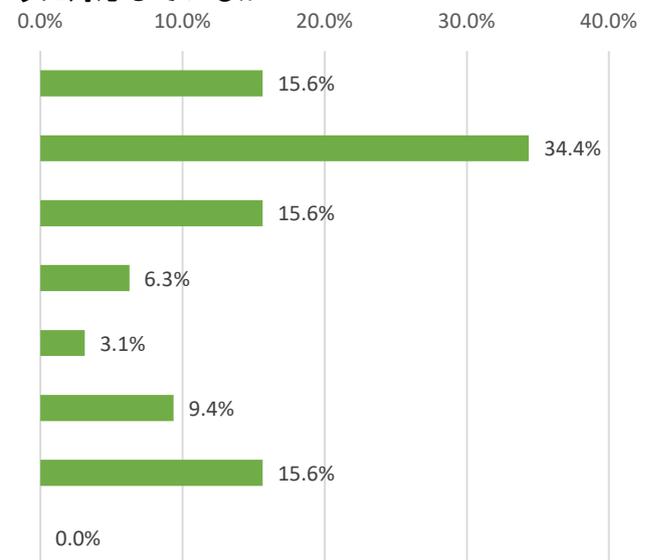
- 1 : 税の「103万円の壁」を意識して
- 2 : 社会保険の「106万円の壁」を意識して
- 3 : 社会保険の「130万円の壁」を意識して
- 4 : 配偶者が勤務する会社の「扶養手当」の支給基準を意識して
- 5 : 分からない
- 6 : 回答不能



※質問 1-2 で選択肢 1~2 と回答した方

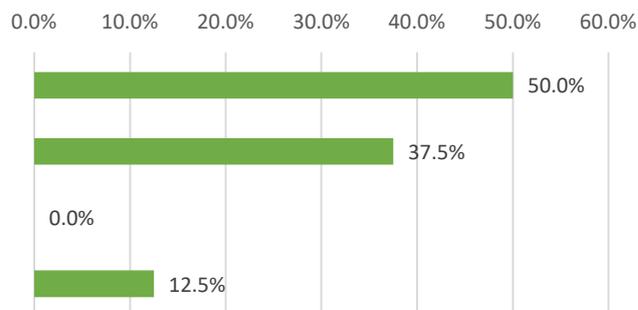
1-4. 就業調整による人手不足の問題について、どのように対応しているか

- 1 : ITの活用などにより、労働生産性の向上・強化を図っている
- 2 : パート・アルバイト従業員等を追加で雇用して労働力の不足分を補っている
- 3 : 既存の社員等の業務量を増やすなどより、労働力の不足分を補っている
- 4 : パート・アルバイト従業員の待遇を引上げて、「年収の壁」による手取り額の減少を抑制することで、就業調整をしなくても済むようにしている
- 5 : 受注量の引下げなど、業務量を減らして対応している
- 6 : その他
- 7 : 特に対応はしていない
- 8 : 回答不能



※質問 1 - 2 で選択肢 1 と回答した方にお伺いします
1 - 5. 人手不足の解消と社会保険料負担について

- 1 : 人手不足問題の解消につながるのであれば、社会保険料の負担増となってもやむを得ない
- 2 : 仮に人手不足問題の解消につながるとしても、さらに社会保険料負担を増やすことはできない (別の方法で人手不足に対処する)
- 3 : 分からない
- 4 : 回答不能



【コメント欄より一部抜粋】

- ・ 社会保険加入を避ける人が多く、労働時間の調整が難しいため、補うパートを常に募集しているが、定着せず人材の質にも課題がある。
- ・ 年収・時間の壁の引き上げ、物価上昇・賃金上昇に伴う労働時間の確保をしてほしい。
- ・ 103万円の壁では以前は12月の出勤日を減らして調整することがあった。
- ・ 103万円の壁については103万円を引き上げるという発想がなかったため、パート従業員の数を増やして対応するしかないかと考えていた。
- ・ 受注量により、パート従業員の月々の就業日数を加減して、年間で103万円で抑えるスケジュールを作成している。又、パート従業員の定年を延長し、労働力を確保している。
- ・ 最低賃金があり、年収の壁が上がらないと、人が足らなくなってしまう。
- ・ 物価上昇と高齢化で家庭の支出が減り、売上が減少。インボイス制度による税負担増もあり厳しい経営を迫られそうである。
- ・ 価格は上げにくく、商品改良と個別の値上げで対応するしかない。
- ・ 原料高、特に米の価格高騰が大きな問題。